

- (1)どんな色を混ぜても作ることができない色をなんというか。( 三原色 )
- (2)《表1》は(1)についてまとめたものである。《表1》の空欄をうめなさい。

《表1》

名前	3つの色(カタカナで)	加法混色 or. 減法混色
色光の三原色	レッド, グリーン, ブルー	加法混色
色料の三原色	シアン, マゼンタ, イエロー	減法混色


- (3)色の三要素について、①～③にあてはまるものをア～ウから選びなさい。
- ①色合い ②明るさ ③あざやかさ                      ア 色相      イ 明度      ウ 彩度                      ①( ア )    ②( イ )    ③( ウ )
- (4)《表2》は色の種類についてまとめたものである。《表2》の空欄をうめなさい。

名前	色の説明
無彩色	彩度が低い色(黒, 灰色, 白のみ)
有彩色	無彩色以外
純色	各色相の中でもっとも彩度が高い色
明清色	純色に白を混ぜた色
暗清色	純色に黒を混ぜた色
濁色(中間色)	純色に灰色を混ぜた色

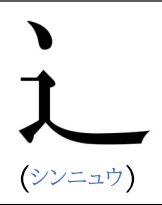
- (5)色相環において、互いに向き合っている色をなんというか。( 補色 )
- (6)①～③に当てはまる色彩対比をア～ウから選びなさい。
- ①同じ明度の色も、暗い背景の上では明るく、明るい背景の中では暗く感じて見える
- ②同じ色相の色も、背景の色相の違いで、色相の感じが違って見える
- ③同じ彩度の色も、低い彩度の背景の中では鮮やかさを増し、高い彩度の中ではにぶく見える
- ア 明度対比      イ 色相對比      ウ 彩度対比                      ①( ア )    ②( イ )    ③( ウ )

【レタリング】


- (1)次のア～オは、明朝体の特徴か、ゴシック体の特徴のどちらか。
- ア フランスでは「サンセリフ」という。      イ 横画の右端や曲がり角に三角形の山形(ウロコ)がある。
- ウ はねたりはらったりする部分など、筆で描いた感じになっている。      エ 強調されるのにつかわれることがある。
- オ 全ての点画が同じ太さでデザインされている。                      明朝体( イ,ウ )      ゴシック体( ア,エ,オ )
- (2)漢字の「永」には基本的な点画や筆づかいが含まれているが、その8つの点画のことをなんというか。( 永字八法 )
- (3)文字は大きさや形がバラバラである。これを、見た目のバランスを考えて文字を配置することをなんというか。( スペーシング )
- (4)それぞれの点画の名前を答えなさい。



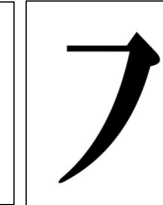
(サズイ)




(シンニュウ)



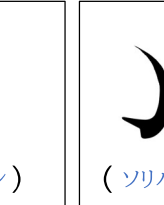
(カギハネ )




(カギハライ)




(ギャクテン)



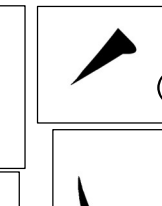
(ソリハネ )



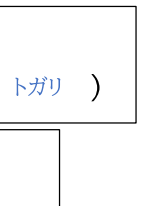
(タデカク )




( テン )



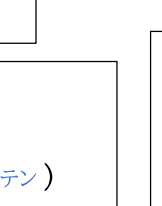
( トガリ )



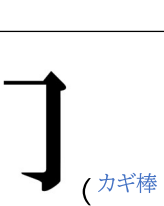
( ナガテン )



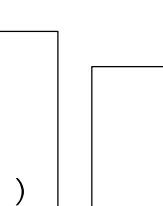
( カギ棒 )



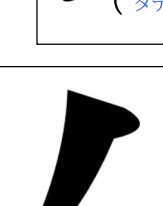
( 右ソリハネ )



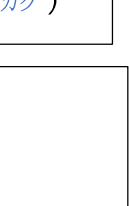
( 右ハライ )



( 右上ハライ )



( ヨコカク )



( 左ハライ )